

## 2018年度CO<sub>2</sub>排出実績（速報値）について

2019年9月20日  
電気事業低炭素社会協議会

電気事業低炭素社会協議会（以下、協議会）は、このたび、2018年度の会員事業者のCO<sub>2</sub>排出実績（速報値<sup>※</sup>）をとりまとめました。

その結果、協議会全体における2018年度CO<sub>2</sub>排出量は3.72億t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出係数は0.463kg-CO<sub>2</sub>/kWh（いずれも調整後の値）となりました。

2017年度実績と比較して、排出量、排出係数ともに減少しております。

これは、安全確保を大前提とした原子力発電の活用、再生可能エネルギーの活用および最新鋭の高効率火力発電設備の導入などに継続的に努めた結果であり、かつ、昨年度より電力量に占める原子力発電比率が増加し、それに伴い火力発電比率が減少したことによるものと考えられます。

協議会では、引き続きPDCAサイクルを展開することで、目標達成に向けた取り組みの実効性を高めてまいります。

※ 現在、国による確認が行われており、今後、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表されるCO<sub>2</sub>排出係数の実績により修正となる可能性があります。

### 【2017年度実績（いずれも調整後の値）】

CO<sub>2</sub>排出量：4.11億t-CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出係数：0.496kg-CO<sub>2</sub>/kWh

【ご参考：電気事業低炭素社会協議会 会員事業者（9/20時点）】

<p>会 員</p>	<p>イーレックス株、出光グリーンパワー株、出光興産株、伊藤忠エネクス株、エネサーブ株、          (株)エネット、(株)エネギア・ソリューション・アド・サービス、(株)F-Power、MC リテールエナジー株          大阪ガス株、沖縄電力株、(株)オプテージ、オリックス株、関西電力株、          (株)関電エネルギーソリューション、九州電力株、(株)Kenes エネルギーサービス、          (株)サイサン、サミットエナジー株、JXTG エネルギー株、(株)JERA、四国電力株、          静岡ガス&amp;パワー株、シナネン株、ダイヤモンドパワー株、中国電力株、中部電力株、          テス・エンジニアリング株、テプコカスタマーサービス株、(株)テレ・マーカー、          電源開発株、東京ガス株、東京電力エナジーパートナー株、東京電力パワーグリッド株、          東京電力ホールディングス株、東北電力株、日鉄エンジニアリング株、日本原子力発電株、          日本テクノ株、プロスペック AZ株、北陸電力株、北海道電力株、丸紅株、丸紅新電力株、          三井物産株、ミツウロコグリーンエネルギー株、(株)Loop</p> <p style="text-align: right;">以上47社</p>
------------	---

以 上